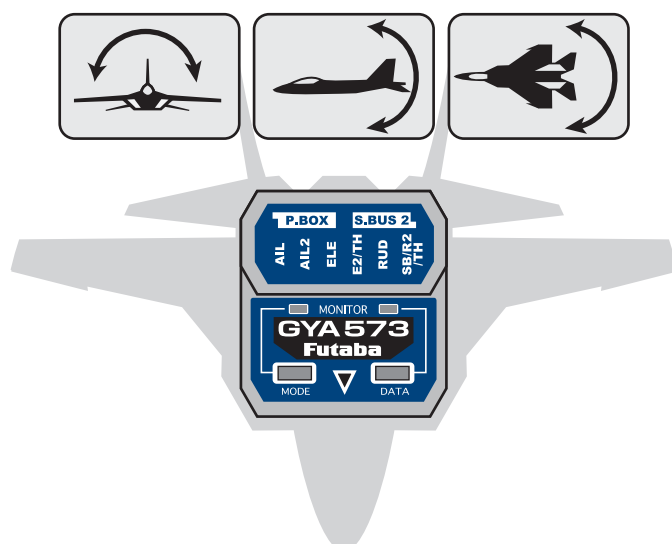




T26SZ
T16IZ
SUPER

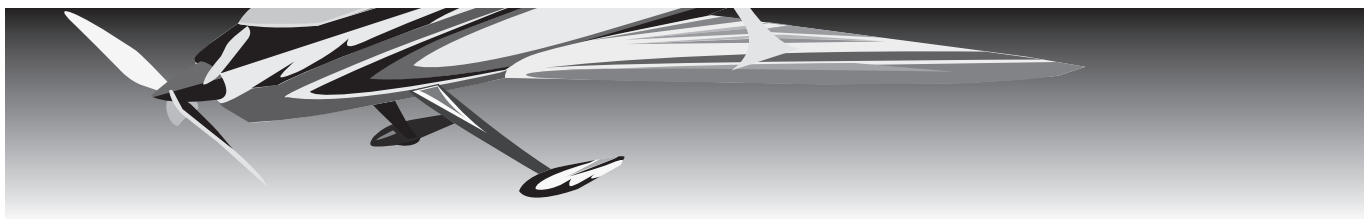
GYA553
GYA573



T26SZ,T16IZ(S)
GYA553 Ver.3 ~ Ver.4
GYA573

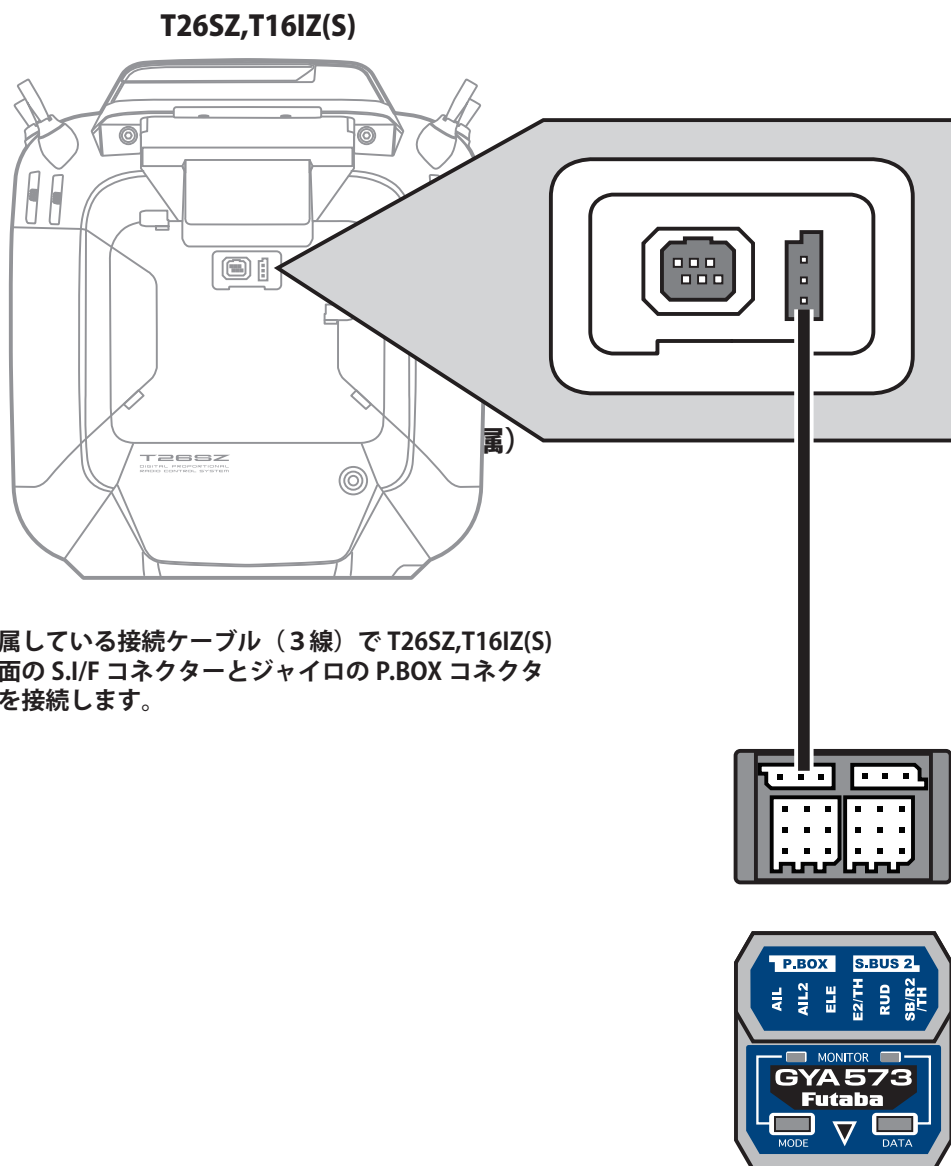
設定説明書

1M23Z08517



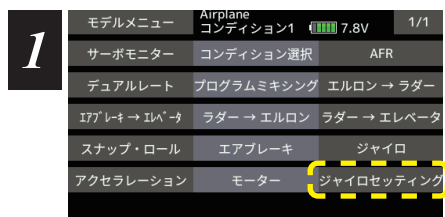
T26SZ,T16IZ(S) と飛行機用 6 軸ジャイロ GYA を接続することで GYA の設定を行うことができます。

送信機とジャイロの接続



⚠ 注意

- ① ジャイロと T26SZ,T16IZ(S) の接続ケーブルの抜き差しは、必ず電源を OFF の状態で行う。



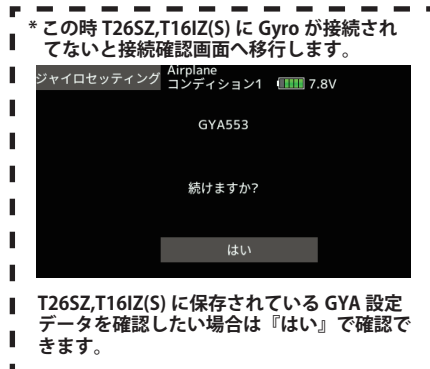
1. 飛行機のモデルメニュー最終ページで『ジャイロセッティング』を選択



2. 『スタート』を選択



『書き込み』を選択すると T26SZ,T16IZ(S) に保存されているジャイロ設定データをジャイロに書き込みます。



『スタート』を押すと Gyro のデータが T26SZ,T16IZ(S) へ読み込まれます。



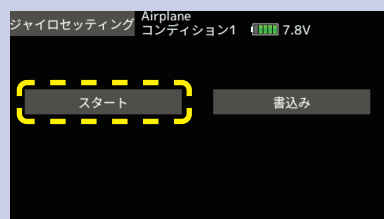
3. Home 画面表示

ベーシック・メニューへ

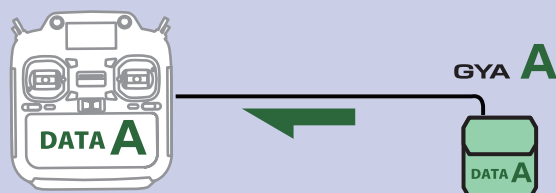
※ GYA573 のデータを GYA553 に書き込むことはできません。

※書き込み完了後、ジャイロの電源を入れ直してください。追加された機能のデータが展開されます。

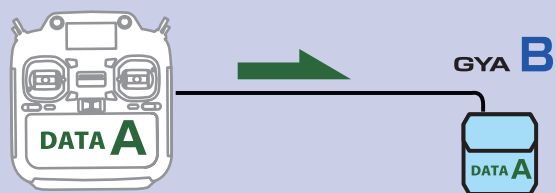
◆ジャイロ A のデータをジャイロ B にコピーする場合



ジャイロ A を T26SZ,T16IZ(S) に接続して [スタート] を押します。(A のデータを T26SZ,T16IZ(S) に入れる)



ここでスタートを押すと B のデータが T26SZ,T16IZ(S) に読み込まれてしまい A のデータがきえてしまいます。



ジャイロ B を T26SZ,T16IZ(S) に接続して [書き込み] を押します。(A のデータをジャイロ B に入れる)

ホーム画面

ホーム画面の表示内容

ホーム画面は、電圧、ジャイロ動作モード、感度などの基本情報を表示します。

機種名表示

読み込んだデータの機種名 (GYA553 または GYA573) を表示します。

電圧表示

ジャイロに入力された電圧を表示します。

ジャイロ動作モード・感度(ゲイン)表示:

エルロン、エレベーター、ラダー軸の AVCS または ノーマルの動作モードと設定感度を表示します。

ジャイロ Ver. 表示:

接続された GYA のソフトウェアバージョンが表示されます。

GYA573	Model1 Condit.1	7.7V
保持力	C1 / FW	7.0V
AIL	ジャイロ OFF	
ELE	ジャイロ OFF	
RUD	ジャイロ OFF	
Gyro Version	x.x	

ベーシックメニュー

ベーシックメニュー GYA553 の場合

基本的な設定をするメニューです。各ベーシックメニューは必ず設定が必要です。

ホーム画面

GYA553	Airplane コンディション1	8.1V
保持力	C5	6.5V
AIL	ジャイロ OFF	
ELE	ジャイロ OFF	
RUD	ジャイロ OFF	
Gyro Version	x.x	

ベーシックメニュー

ベーシックメニュー画面

ベーシックメニュー	Airplane コンディション1	7.8V
設定		
SBUS ベーシック		

◆設定

設定

Model1
Condit.1

 7.7V

1/9

ジャイロセット方向

アップ

左

ダウン

右

主翼タイプ

ノーマル

エレボン

尾翼タイプ

ノーマル

Vテール

サーボタイプ

DG:285Hz

AN: 70Hz

SB/R2 アウト

SBus(HS)

RUD2

Ch3(Thr)

SBus(Std)

◆SBUS ベーシック

SBUS ベーシック	Model1 コンディション1	7.6V	1/4
AIL	CH1	ゲイン AIL	CH5
ELE	CH2	ゲイン ELE	CH7
		ゲイン RUD	CH8
RUD	CH4	ELE2	INH
AIL2	INH	RUD2	INH

ベーシックメニュー GYA573 の場合

基本的な設定をするメニューです。各ベーシックメニューは必ず設定が必要です。

ホーム画面

GYA573	Model1 Condit.1	7.7V
保持力	C1 / FW	7.0V
AIL	ジャイロ	OFF
ELE	ジャイロ	OFF
RUD	ジャイロ	OFF
Gyro Version	x.x	

ベーシックメニュー画面

ベーシックメニュー	Model1 Condit.1	7.7V
設定		
エアブレーキ		P15
キャンバーミキシング		P16
SBUS ベーシック		

◆設定

設定	Model1 Condit.1	 7.7V	1/9	
ジャイロセット方向	アップ	左	ダウン	右
主翼タイプ	ノーマル	エレボン		
尾翼タイプ	ノーマル	Vテール		
サーボタイプ	DG:285Hz	AN: 70Hz		
SB/R2 アウト	SBus(HS)	RUD2	Ch3(Thr)	SBus(Std)

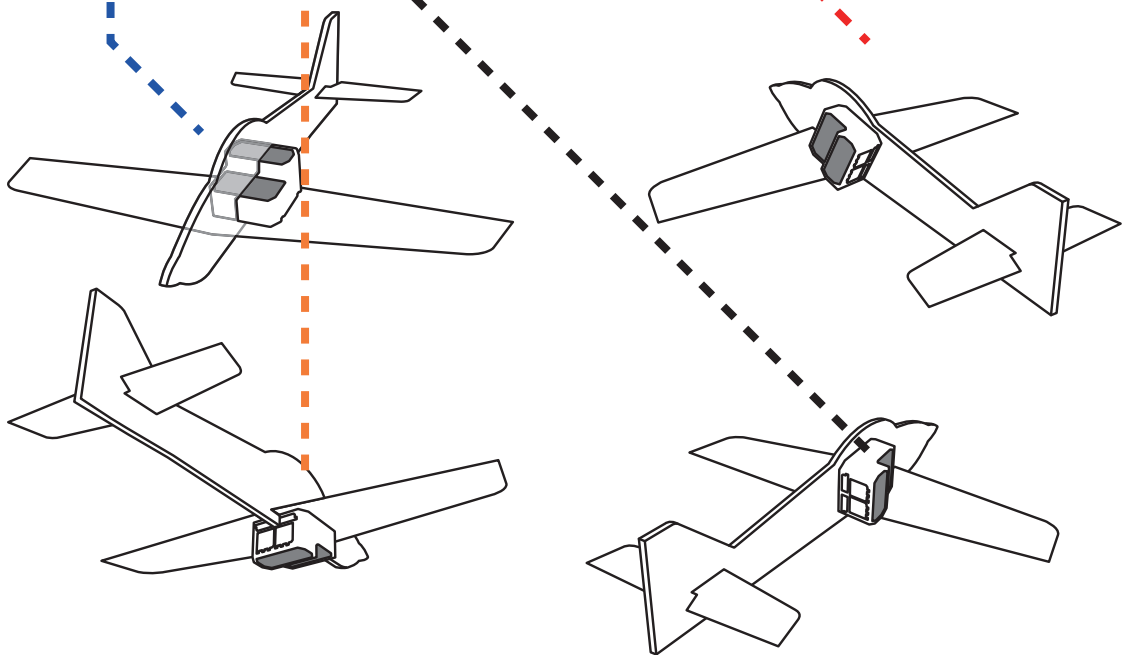
◆SBUS ベーシック

SBUS ベーシック	Model1 Condit.1	7.7V	1/4
AIL	CH1	ゲイン AIL	CH5
ELE	CH2	ゲイン ELE	CH7
		ゲイン RUD	CH8
RUD	CH4	ELE2	CH9
AIL2	CH6	RUD2	CH11

設定 1/9 ジャイロセット方向

設定	Model1 Condit.1		 7.7V	1/9
ジャイロセット方向	アップ	左	ダウン	右
主翼タイプ	ノーマル	エレボン		
尾翼タイプ	ノーマル	Vテール		
サーボタイプ	DG:285Hz	AN: 70Hz		
SB/R2 アウト	SBus(HS)	RUD2	Ch3(Thr)	SBus(Std)

機体へのジャイロ搭載方向を入力します。

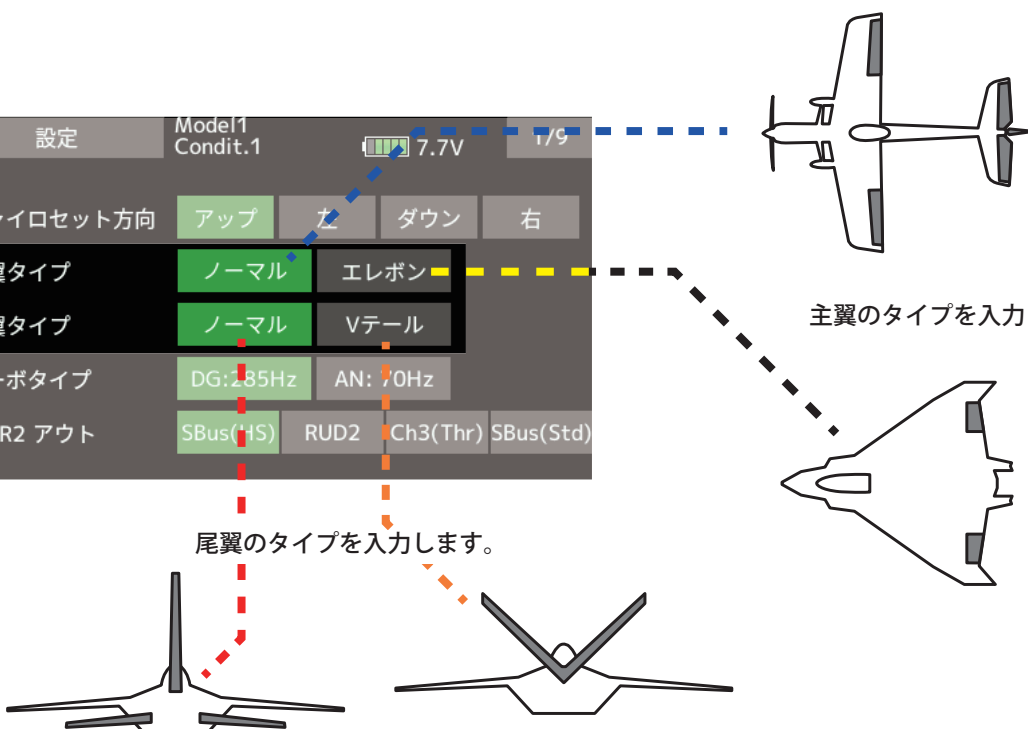


設定 1/9 主翼 / 尾翼

設定	Model1 Condit.1	 7.7V	1/9	
ジャイロセット方向	アップ	左	ダウン	右
主翼タイプ	ノーマル	エレボン		
尾翼タイプ	ノーマル	Vテール		
サーボタイプ	DG:285Hz	AN: 70Hz		
SB/R2 アウト	SBus(HS)	RUD2	Ch3(Thr)	SBus(Std)

主翼のタイプを入力します。

尾翼のタイプを入力します。



設定 1/9 サーボタイプ

設定	Model1 Condit.1		 7.7V	1/9
ジャイロセット方向	アップ	左	ダウン	右
主翼タイプ	ノーマル	エレボン		
尾翼タイプ	ノーマル	Vテール		
サーボタイプ	DG:285Hz	AN: 70Hz		
SB/R2 アウト	SBus(HS)	RUD2	Ch3(Thr)	SBus(Std)

サーボタイプを入力します。

デジタルサーボ

アナログサーボ

設定 1/9 SB/R2 アウト

設定	Model1 Condit.1		 7.7V	1/9
ジャイロセット方向	アップ	左	ダウン	右
主翼タイプ	ノーマル	エレボン		
尾翼タイプ	ノーマル	Vテール		
サーボタイプ	DG:285Hz	AN: 70Hz		
SB/R2 アウト	SBus(HS)	RUD2	Ch3(Thr)	SBus(Std)

SB/R2 のポートを選択します。

S.BUS(HS)

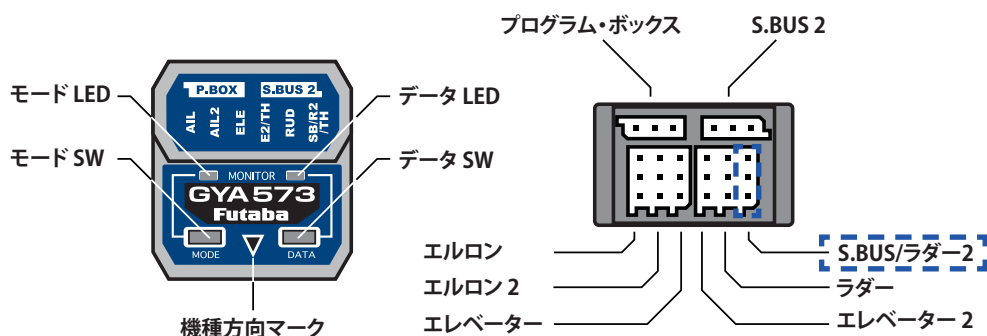
SV サーボを接続する場合は、S.BUS(HS) をご使用ください。

ラダー 2

スロットル

S.BUS(STD)

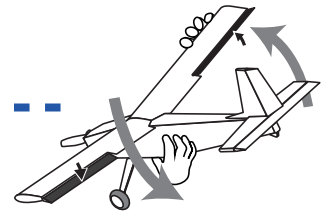
S3175HV、DLPH-1 など、S.BUS(HS) では動作しない場合、S.BUS(STD) を使用してください。



設定 2/9 ジャイロ動作

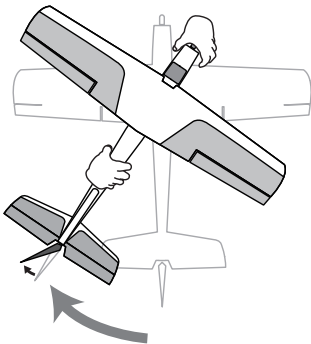
設定	Model1 Condit.1	7.7V	2/9
ジャイロ動作			
AIL	ノーマル	AIL2	ノーマル
ELE	ノーマル	ELE2	ノーマル
RUD	ノーマル	RUD2	ノーマル
AIL3	ノーマル	AIL4	ノーマル

ジャイロ動作方向を入力します。

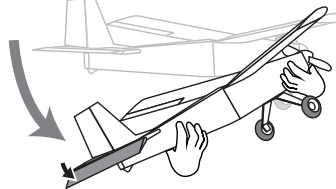


機体を左に傾けてエルロンが右に動作するかチェック

地上で機体を右に振ってみてラダーが左に動作するかチェック



機体を上に傾けてエレベーターがダウンに動作するかチェック



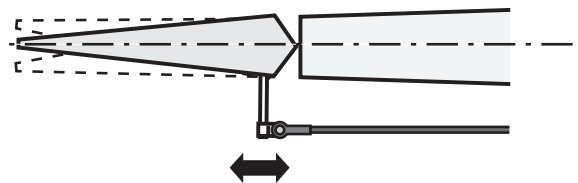
SB/R2 ポートの出力が「S.BUS(HS)」または「S.BUS(STD)」が選択されていると、設定メニューに、AIL3 と AIL4 の設定項目が表示されます。

※ AIL3 と AIL4 の設定は GYA 本体のボタン設定では設定できません。

設定 3/9 ニュートラルオフセット

設定	Model1 Condit.1	7.7V	3/9
ニュートラル オフセット			
AIL	+0	AIL2	+0
ELE	+0	ELE2	+0
RUD	+0	RUD2	+0
AIL3	+0	AIL4	+0

各舵のニュートラル位置を調整できます。



※ AIL3 と AIL4 の設定は GYA 本体のボタン設定では設定できません。

SB/R2 ポートの出力が「S.BUS(HS)」または「S.BUS(STD)」が選択されていると、設定メニューに、AIL3 と AIL4 の設定項目が表示されます。

ニュートラル位置になるように
[△][▽] キーで調整

設定 4/9 5/9 サーボリミット

設定	Model1 Condit.1	7.7V	4/9
サーボリミット			
AIL	100 %	100 %	
ELE	100 %	100 %	
RUD	100 %	100 %	
AIL3	100 %	100 %	

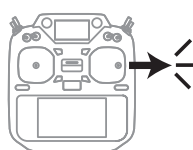
各舵のリミット位置（最大動作位置）を調整します。

設定	Model1 Condit.1	7.7V	5/9
サーボリミット			
AIL2	100 %	100 %	
ELE2	100 %	100 %	
RUD2	100 %	100 %	
AIL4	100 %	100 %	

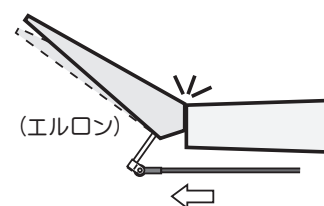
使用している舵は、すべて調整してください。

SB/R2 ポートの出力が「S.BUS(HS)」または「S.BUS(STD)」が選択されていると、設定メニューに、AIL3 と AIL4 の設定項目が表示されます。

※ AIL3 と AIL4 の設定は GYA 本体のボタン設定では設定できません。



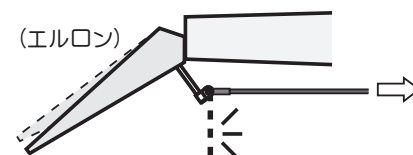
エルロン・スティック
を右フル操作して



最大動作位置になるように
数値 (%) を調整



エルロン・スティック
を左フル操作して



最大動作位置になるように
数値 (%) を調整

設定 6/9 保持力の調整

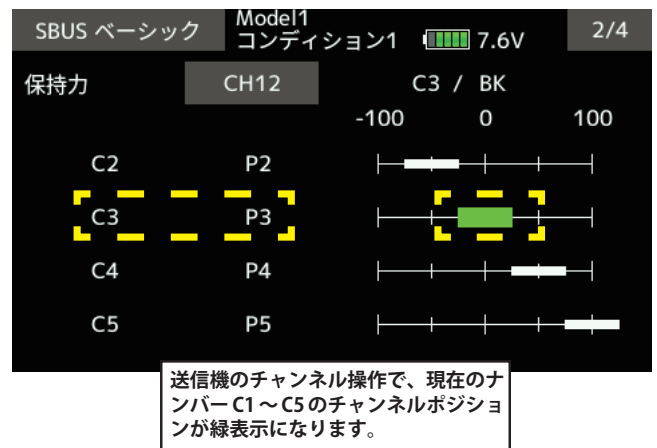
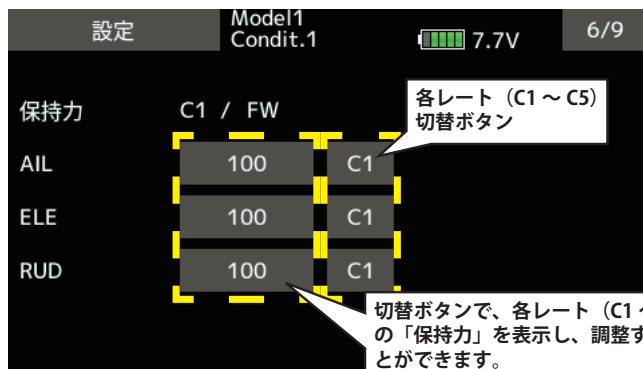
AVCS モード時の機体の姿勢保持力を調整できます。

数値を小さくすると保持力が弱くなり、操作フィーリングがノーマル・モードに近づきます。

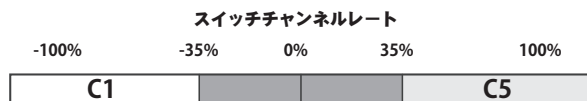
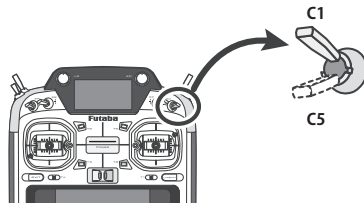
送信機のチャンネル操作で、現在のナンバー C1 ～ C5 を表示します。

送信機のフライト・コンディション機能のように、送信機からのスイッチ操作で、AVCS モードの機体の姿勢保持力レートを最大 5 通りのデータを設定して、切替えて使用することができます。送信機の AFR 機能のあるチャンネルに保持力レート切替スイッチを設定し、AFR のポイントカーブで各レート毎にポイントを設定して切り替えることができます。フライトコンディション機能を使用して、フライト・コンディション・スイッチと連動させることも可能です。

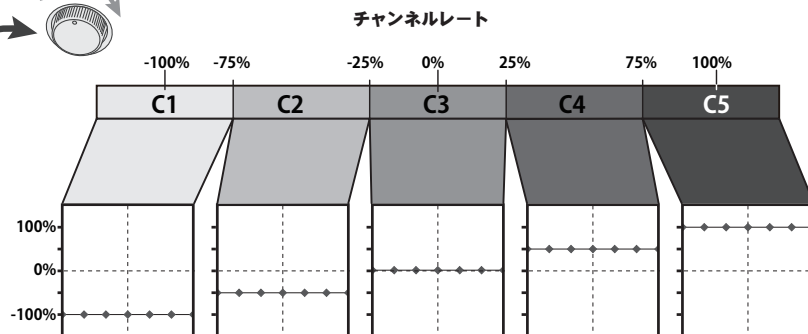
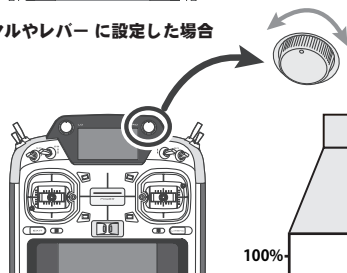
S.BUS ベーシック画面 2/4



DG1 または DG2 の SW に設定した場合



ダイヤルやレバー に設定した場合



設定 7/9 4D フライトジャイロリバースモードの調整

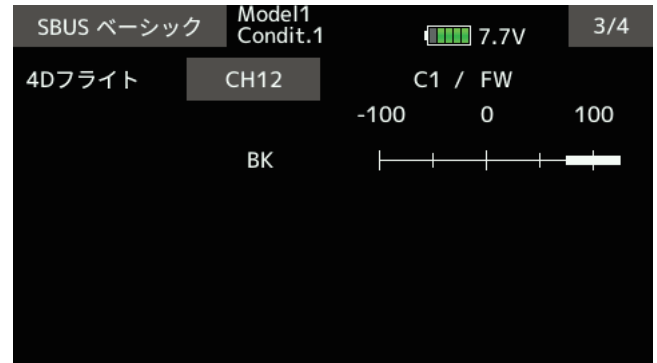
7 ページ目は、ジャイロリバースモードの設定になります。バック飛行時に、エルロン、エレベーター、ラダーの制御方向をリバースにするかの選択を行います。通常バック飛行時は、全ての舵の操舵方向が逆になりますので、ジャイロの制御方向もリバースにします。

前進 (FW)、バック (BK) の切り替えは、保持力と同様の CH12 の信号を使っています。スロットルスティックの midpoint 付近から上側が前進、下側がバックになります。

詳細の切り替えポイントの設定については、送信機の設定を参照願います。

ジャイロリバースモード時は、機体の傾き方向と同方向にジャイロが制御します。前進・バックと切り替えて、ジャイロの制御方向が正しく切り替わるかの確認してください。

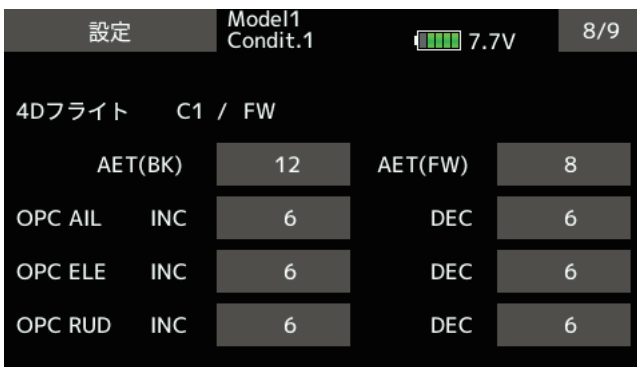
S.BUS ベーシック画面 3/4



設定 8/9 4D フライトモードの調整

8 ページ目は、ジャイロ動作の細部のパラメーター設定を行います。

AET (BK), AET (FW) 機能は、前進、バック遷移時の機体の飛行姿勢の推定を行い、ジャイロ制御を最適化します。機体姿勢変化が早い場合は値を小さくします。姿勢変化が緩やかな場合は値を大きくします。前進、バック遷移時の補正値を独立に設定できます。設定範囲は 0 ~ 30 です。OPC パラメーターは、制御量の増加と減少時の速度調整を行います。設定範囲は 0 ~ 27 です。設定例の値は、SkyLeaf-ST の標準設定値になります。機体の特性や、フライトスタイルにより最適値が変わります。



7-8 ページは 4D バック飛行の設定です。詳細の設定は Futaba ホームページ T26SZ,T16IZ(S) GYA 4D フライトセッティングマニュアルをご参照ください。

GYA553 ~ Ver.3 では設定画面が表示されません。

GYA553 Ver.4 または GYA573 は設定可能です。

GYA553 の場合

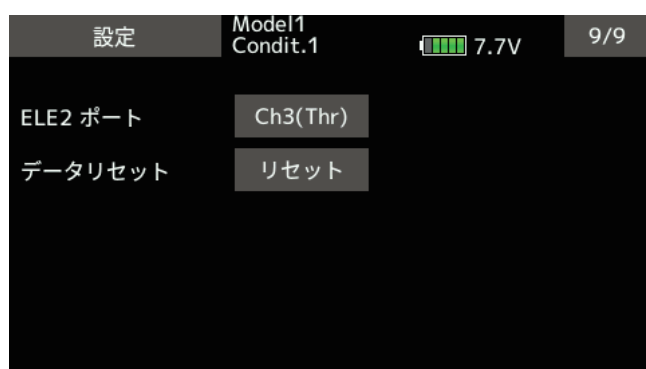


各設定項目のリセットを行います。実行後は出荷時の初期値に戻ります。

GYA573 の場合



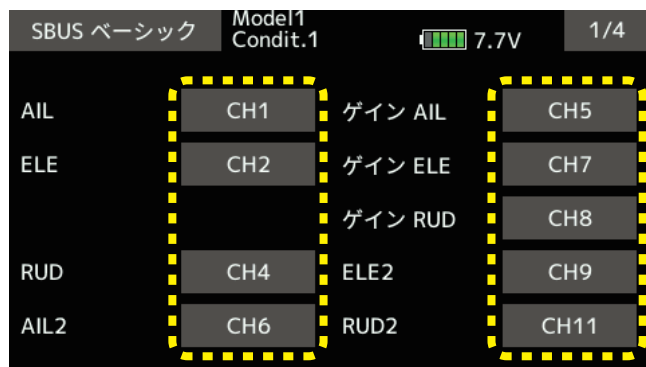
GYA573 の場合は、E2/TH ポートを、ELE2 出力または CH3(THR) 出力に設定できます。



※ GYA573 の場合は、エアブレーキとキャンバミックスの設定も初期化されます。

SBUS ベーシックメニュー

使用する送信機に合わせて、各ファンクションの CH 設定をします。使用しないファンクションは INH に設定します。



タッチするとチャンネル
が変更できます。

タッチするとレート切替 CH 設定
ページへ移動します。



保持力レート C2 ~ C5

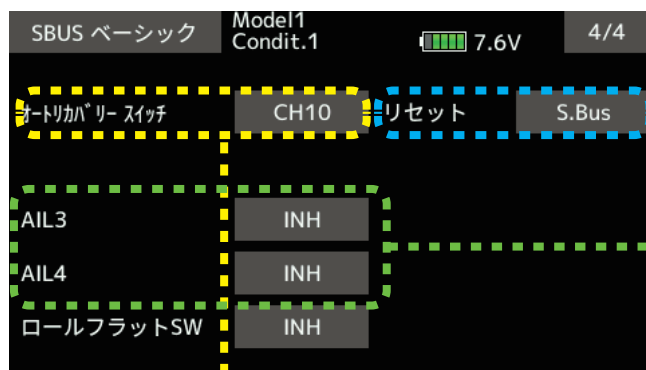


警告

① ジャイロと送信機が接続している場合のみ、設定変更が可能です。ジャイロと送信機の CH が必ず一致するように設定します。送信機の CH を変更した場合、ジャイロも変更が必要です。



レート切替に使用する CH をタッチして
選びます。



オートリカバリーを ON/OFF
させるスイッチのチャンネル
設定です。

SBUS ベーシックメニューでの
設定項目をリセットします。

■ SB/R2 ポートの出力が「S.BUS(HS)」または「S.BUS(STD)」が選択されていると AIL3 と AIL4 の CH 設定項目が表示されます。ここで、AIL3 と AIL4 の操作 CH を設定すると、ジャイロ制御された信号が、S.BUS 出力の該当 CH に出力されます。

※ 送信機側のファンクション設定画面の操作 CH と CH 設定と合わせてください。

※ AIL3 と AIL4 の CH 設定が INH のときは、ジャイロ制御されず、送信機から送られたデータがそのまま出力されます。

GYA573 の場合



ロールフラット機能を ON/OFF させるスイッチのチャンネル設定です。

ON する位置のパルス幅で、ロールフラットが ON するロール角を設定できます。

(本設定 CH の送信機側 AFR レートなどで設定します。)

【ロール・フラット機能】

ロール軸だけ水平 (ロール角 0°) を維持する機能です。用途としては、着陸進入時に使用すると、機体を水平に保ちますので、エルロン操作が楽になり、スロットル、エレベーター操作に集中でき、着陸操作が楽になります。また、機体が背面時も同様に背面水平維持をしますので、上空飛行時の水平飛行の確認に役立ちます。ロールフラット機能がオンになるロール角は、着陸時は、 $10^\circ \sim 15^\circ$ 、上空水平飛行時は、 $15^\circ \sim 20^\circ$ 程度に設定すると、違和感の無い飛行になります。

ロール・フラット機能が ON する条件 (下記条件が全てそろったとき)

- 1) ロール・フラット・スイッチ・チャンネルの設定がされている場合 (INH でない場合)
- 2) ロール・フラット・スイッチ・チャンネルの操作位置が、送信機の AFR 設定画面で見たとき、ニュートラルより - 側の時
- 3) ロール・フラット・スイッチ・チャンネルの操作位置を送信機の AFR 設定画面で見たとき、レート値 $Wp(\%)$ であったとき、機体のロール軸の傾き角が、 $Wp/2(^\circ)$ 以内の時
- 4) エルロン・スティックの操作位置がニュートラルの時
- 5) 機体のピッチ軸の傾き角が、 $\pm 60^\circ$ 以内の時

【例】ロール・フラット・スイッチ・チャンネルが CH15 のとき、CH15 の動作位置が AFR レート -50% の位置とすると、ロール角が $\pm 25^\circ$ 以内であればロール・フラット機能が ON するロール角となります。

ロール・フラット・スイッチ・チャンネルの動作位置が AFR レート -100% 以下のとき、通常のオート・リカバリー・モードが動作します。



ロール・フラット・スイッチ・チャンネルがニュートラルから - レート側のときにロールフラット機能が ACT になります。

ロール・フラット・スイッチ・チャンネルの動作位置の AFR レートの 1/2 がロールフラットが ON になるロール角です。

【例】ロール・フラット・スイッチ・チャンネル動作位置の AFR レートが -50% の場合で、ロール角が $\pm 25^\circ$ 以内ならロールフラット機能が ON になります。



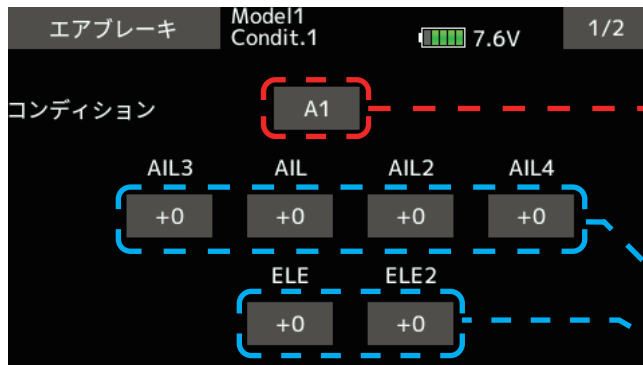
S.BUS ベーシック項目のリセットを行います。実行後は出荷時の初期値に戻ります。

"リセット" をタップし確認画面で "はい" を押すと初期値にリセットされます。

エアブレーキ機能

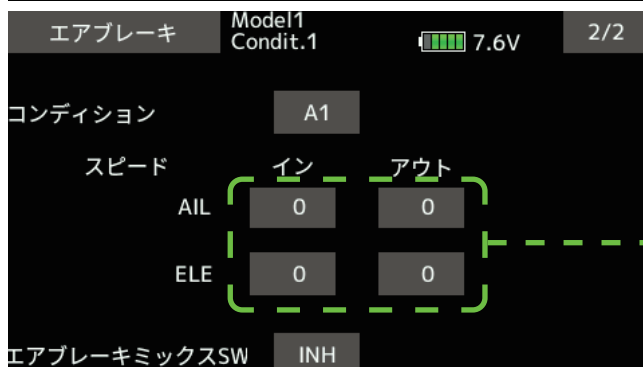
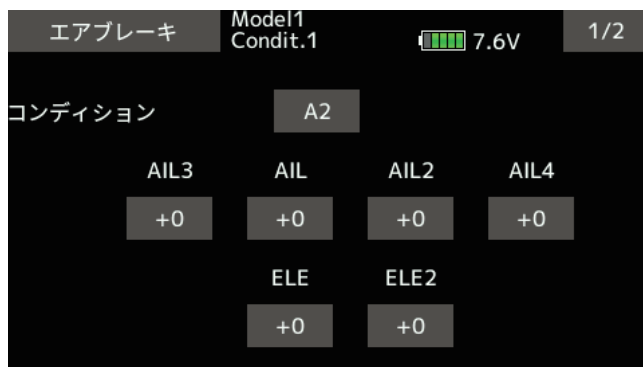
送信機のエアブレーキ機能と同等の機能です。レート A1/A2 の 2 レートの設定が可能です。
(動作量は送信機のエアブレーキ機能よりも、やや少なくなります。送信機のエアブレーキ機能を使用できない AVCS モードでも使用可能です。)

エアブレーキ ON 状態でもロールフラットは機能します。



エアブレーキ Mix レートの No. 表示
エアブレーキは A1 と A2 の 2 レートの設定が可能です。

各舵の動作レート (-250 ~ 0 ~ +250)



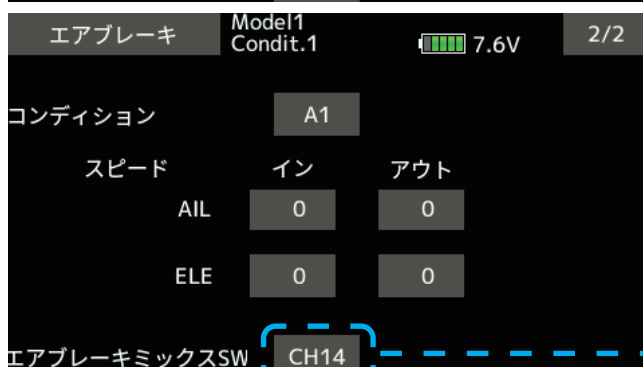
各舵の動作スピード設定

設定範囲: 0 ~ 27

IN はエアブレーキ Mix が ON するときの動作スピードです。

OUT はエアブレーキ Mix が OFF するときのスピードです。

A1 ⇄ A2 の切替時は、ON するほう (IN 側) のスピード設定が優先されます。



エアブレーキ Mix の ON/OFF CH 設定

設定範囲: INH, CH1 ~ CH16, DG1, DG2

同一 CH のパルス幅で A1 と A2 のレートが切り替わります。

送信機側の AFR で設定します。



A1 も A2 も OFF の領域 (ニュートラルから + レート側)

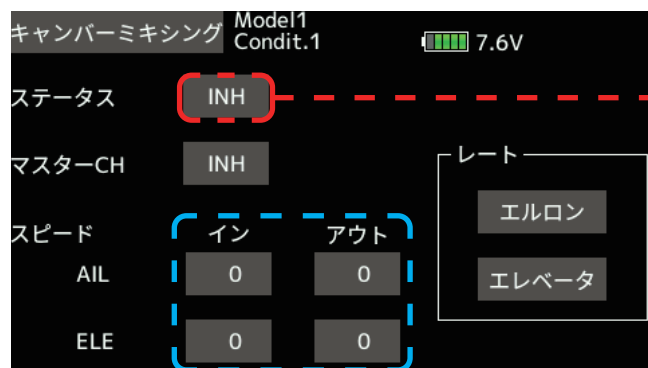
A1 が ON で A2 が OFF の領域 (ニュートラルから -50%)

A1 が OFF で A2 が ON の領域 (-50% 以下)

キャンバーミキシング機能

送信機のキャンバーミキシング機能と同等の機能です。

(送信機のキャンバーミキシング機能を使用できない AVCS モードでも使用可能です。)



Camber Mix ON/OFF 設定

[表示]

INH : INH

OFF: Camber Mix が ACT で、マスター CH 未設定の状態です。

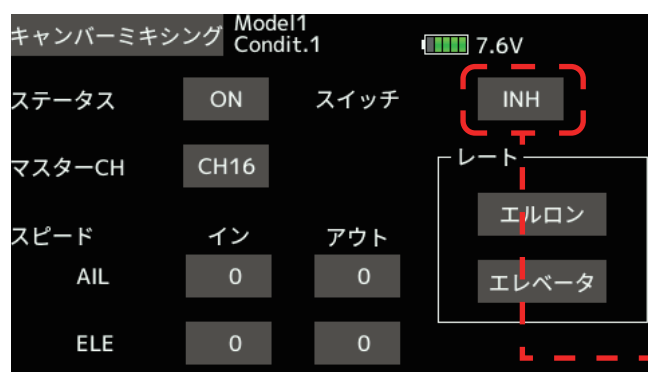
ON: Camber Mix は ACT でマスター CH も設定されているが、ON/OFF CH 未設定の状態です。(Mixing 動作します。)

ACT: Camber Mix は ACT でマスター CH も ON/OFF CH も設定されている状態です。

Camber Mix の動作スピード設定 (0 ~ 27)

Mixing OFF ⇒ ON 時と ON 中にマスター CH を操作したときは IN 側のレートで動作します。

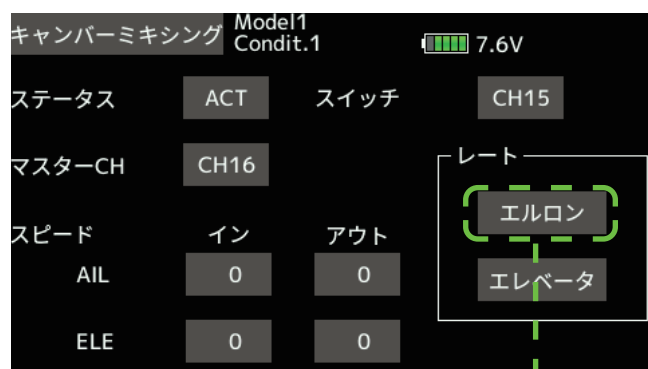
Mixing ON ⇒ OFF 時は OUT 側のレートで動作します。



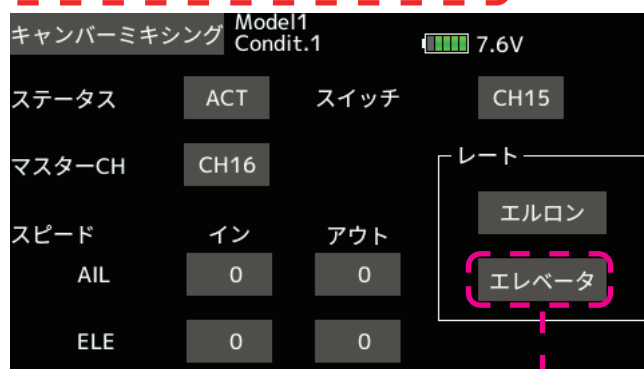
Camber Mix スイッチ ON の領域 (-50%以下)

Camber Mix ON/OFF CH 設定

設定範囲: INH, CH1~CH16, DG1, DG2



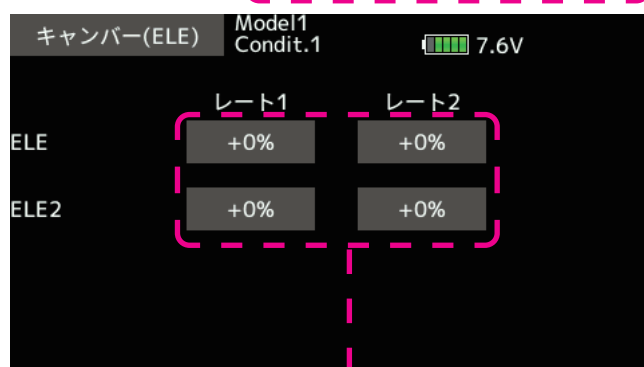
AIL 設定画面への遷移ボタン



ELE 設定画面への遷移ボタン



AIL の動作レート (-100 ~ 0 ~ +100)
アップ側とダウン側を別々に設定可能です。



ELE の動作レート (-100 ~ 0 ~ +100)
アップ側とダウン側を別々に設定可能です。